

平成 29 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人

猪名川町社会福祉協議会

目 次

1 総括	1ページ
2 諸活動報告	
(1)地域福祉活動	2ページ
(2)ボランティア活動	5ページ
(3)障害者(児)福祉活動	11 ページ
(4)高齢者福祉活動	17 ページ
(5)福祉教育活動	28 ページ
(6)広報・啓発活動	30 ページ
(7)自主財源活動	31 ページ
(8)団体事務局の運営	34 ページ
(9)総合福祉センター管理運営等	34 ページ
(10)諸会議	36 ページ
社会福祉法人 猪名川町社会福祉協議会役員の状況	40 ページ

平成 29 年度 猪名川町社会福祉協議会 事業報告

1 総 括

現在、地域福祉をめぐる政策は目まぐるしく変化しています。国では、平成 27 年度の生活困窮者自立支援法や生活支援体制整備事業を皮切りに、平成 28 年度は、「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部の設置、平成 29 年度には社会福祉法人制度改革が行われ、法人のガバナンス強化・明確化や地域における公益的な取組みが法人の責務となりました。

このように、地域福祉に係る施策が矢継ぎ早に打ち出される中、これまで地域福祉を推進する中核的機関とされてきた社会福祉協議会の存在意義が改めて問われており、地域共生社会の実現に向けて役割を果たしていくことが求められています。しかしながら、当社協の組織経営の課題も山積しており、特に近年では福祉・介護人材不足や介護保険サービス等の収益減による財政状況の悪化など、早急な対応を要する深刻な課題となっています。

以上のような情勢に対応するため、当社協の介護保険分野においては、健康長寿の町づくり推進のため、町からの委託を受け、脳の健康教室の開催や健康長寿体操教室への助成、食に関する健康講座やふれあい・いきいきサロン開設助成などを実施し、脳・運動・栄養・社会参加等のアプローチから地域に即した介護予防を展開してきました。一方、認知症対応型グループホームは慢性的な経営状況悪化という課題を踏まえる中、町内において他事業所が開設されることを受け、平成 29 年度末を以って閉所しました。

障がい者福祉分野においては、相談支援センター相談員に人材不足が生じたものの、適切な人員配置により、相談件数の増加に努めました。多機能型事業所「希望の家すばる」においては、行動指針を定め資質向上を目指すべく、職員研修や情報共有に努め、チームとして支援する体制づくりに取り組みました。このほか地域活動支援センター、居宅介護、移動支援、日中一時利用、障害児療育支援など障害者総合支援法に係る様々な事業で支援する傍ら、地域福祉活動の一環である「ふれあい運動会」や「ふれあいバスツアー」、「イナワイ」等の活動にも引き続き取り組み障害者交流啓発活動を実施しました。

組織基盤体制については、平成 29 年度に本格施行された改正社会福祉法に対応すべく、法人組織のガバナンス強化、定款変更をはじめ規程等の改正、組織体制の整備を行いました。

法人全体の事業収支では、平成 29 年度は収入総額 447,055,427 円(対前年度 99.4%)、支出総額 445,327,115 円(対前年度 101.5%)となり、差引額 1,728,312 円の黒字となりました。

今後も引き続き財政基盤を安定させるとともに、人材確保、研修など人材育成によるサービスの質の向上と安定的な支援・事業運営に努めてまいります。

以下、ここに平成 29 年度における本協議会の諸活動について報告致します。

2 諸活動報告

(1) 地域福祉活動

①福祉委員活動

福祉委員制度は、最も身近な地域で福祉的課題に「気づく」「受け止める」「つなげる」「伝える」を役割として、各地域で住民主体の福祉活動を進め、地域の福祉力を高めていくことを目的として設置されたもので、29年度もその活動の推進・支援に努めました。



【福祉委員全体会の様子】

(7) 福祉委員会全体会議の開催

《計2回：5月20日（土）62名参加・11月19日（日）31名参加》

平成29年11月19日の全体会では、介護予防普及啓発事業の一環で開催する健康づくり講演会と共同開催し、「健康寿命を延ばす食事の秘訣」をテーマに調理の実演や試食を行う際、福祉委員の役員が中心となって試食の準備など行っていただきました。

(イ) 役員会の開催（計4回：5月20日・7月15日・9月16日・3月17日）

(ウ) 「健康福祉まつり」への出展

平成29年度も「健康福祉まつり」で福祉委員会として単独ブースにて出展し、地域の居場所づくりの手段として「コミュニケーション麻雀」の体験と各校区・地区の福祉委員さんに集まっていただき舞台上で活動PRを行いました。

(エ) 小地域福祉組織化活動

地区（校区）福祉委員会では、定例会のほかそれぞれの地域特性にあわせた福祉啓発活動、地域ふれあい交流活動、在宅福祉援助活動などに取り組みました。

○主な活動内容

地区（校区）	主な活動内容
内馬場・伏見台地区	お花見会（民生委員・児童委員と共催）、映画会（年3回）、歌声サロン（月1回）、カラオケ、グラウンドゴルフ、チェアトレ等
原・松尾台地区	ふれあいひろば（年2回）、夏祭りお手伝い、自治会・民生委員・児童委員・地域包括との交流会等
阿古谷地区	ふれあい交流会（夏祭り、地域合同運動会、秋祭り、うどんづくり教室、餅つき、グラウンドゴルフ、健康講座等）、サロン活動等
猪名川小校区	「若葉いこいの家」の運営ボランティア、健康教室（チェアトレとサロン）、むつみ会活動支援、サマーフェスタ、秋祭り、しめ縄と餅つき、世代交流、そば打ち、コミュニケーション麻雀、初釜等
つつじが丘小校区	夏祭り、寺子屋、ふれあいサロン、子育て支援 ちょこっと体操（健康体操）、うたごえ喫茶、すずめクラブ、写経等 出前講座、カフェサテ（お花見、そば打ち道場、コンサート等）
白金小校区	ほっとサロン絆（月1回）、土曜サロン（隔月1回）、さくらまつり参加、研修会（施設見学）、校区民生委員との交流会等
楊津小校区	グラウンドゴルフ大会、楊津夏祭り、民生委員・児童委員との連携・交流会（コミュニケーション麻雀実施）及び合同研修会、施設見学等
大島小校区	トレイルラン協力（餅つき他）、民生委員・児童委員との連携・交流会（コミュニケーション麻雀実施）及び合同研修会、旭ヶ丘サロン、大島小学校放課後子ども教室、大島ガッツプレイヤーズ協力等

(オ) 行事・イベント等への参加

「健康福祉まつり」、「障害者ふれあい運動会」、社協会員会費、共同募金など社協事業・活動への協力。

②ふれあい弁当サービス

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯等を対象に、安否確認や食生活充実を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

平成29年度は、平成28年度よりも新規利用者が少なく、また利用者の体調不良による入院等も重なり、実績としては1,742食/48日（平成28年度1,812食/48日）の実施となりました。また、毎月1回のおたより「お弁当だより（翌月の献立表も掲載）約400部/年」の発行や利用者対象にアンケートの実施や事業啓発を実施しました。民間事業の参入もあり厳しい状況ですが、当事業を通して地域のつながりづくりに努めます。

○ふれあい弁当月別配食実績表

（単位：食）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成29年度	152	156	151	153	155	148	141	172	140	140	139	95	1,742
1回あたりの平均配食数	38	39	37	38	38	37	35	34	35	35	34	31	36
平成28年度	160	122	203	152	147	152	142	156	151	112	145	170	1,812
1回あたりの平均配食数	40	40	40	38	36	38	35	39	37	37	36	34	38

③福祉相談活動

(7) 生活福祉資金貸付事業

生活困窮世帯の方々に低金利で資金を貸付けする事業で、相談支援を通じて経済的自立を図るとともに、在宅福祉の推進と社会参加促進を図り、地域で安定した生活を送れることを目的とした貸付事業です。

平成 29 年度の貸付相談は全体で 25 件あり、実際に貸付に至ったケースは 1 件（緊急小口資金）ありました。また、貸し付けに至らなかったケースについても、フードバンク関西、ワーカーズコープ、阪神北県民局等の関係機関と連携し、経済的自立に向けての支援を行いました。

(1) 心配ごと相談の運営

民生委員児童委員協議会に委託して実施しており、総合福祉センター、ふらっと六瀬及び日生公民館において、原則月 3 回、火曜日の午前 10 時から 12 時まで民生委員・児童委員が輪番で相談を受けつけています。平成 29 年度の相談件数は 1 件でした。（平成 28 年度実績：1 件）

④日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

判断能力が十分でない方（認知症高齢者・精神障害者・知的障害者等）が、地域で安心して生活ができるように福祉サービス利用への援助（情報提供・利用手続きの援助、利用料の支払等）や日常の金銭管理（生活費の引出し、預金通帳・印鑑の預かり）等の支援内容を定め契約し、派遣される「生活支援員」により自立した生活支援を行うことを目的とし、平成 12 年度より実施しています。

平成 29 年度は、生活保護世帯 1 件について支援員派遣を実施しました。

- ・生活支援員の研修会参加
- ・社協だよりでの広報（平成 30 年 3 月 1 日号）
- ・福祉委員会、ケアマネジャーの会議等での事業説明
- ・相談支援

⑤福祉用具の貸出事業

平成 5 年度より、町内在住で福祉用具を必要とする方に、善意銀行に寄付があった福祉用具（車イスや歩行器等）を基本 6 ヶ月以内無料（一部物品搬出料の負担あり）で貸出を実施しています。平成 29 年度は、社会福祉会館に設置していた倉庫を廃止しが総合福祉センターの円形広場に倉庫を設置し、在庫の整理等を行いました。

○福祉用具貸出実績

（単位：件）

貸出器具	車イス	介護用ベッド	ポータブルトイレ	歩行器	その他 (杖・入浴関連他)	合計
平成 29 年度	71	2	19	5	26	123
平成 28 年度	76	2	26	10	28	142



⑥手作りおもちゃの貸出事業

「おもちゃ図書館」では、ボランティアが製作した手作りおもちゃを、地域の団体や子育て支援グループ・個人への貸出しを行いました。健康福祉まつりで、PRをした結果、貸出件数が大幅に増えました。また、おもちゃ作りのボランティア数も増え、おもちゃ作成にも積極的に取り組みました。（共同募金の地域配分金を活用しています）平成 29 年度貸出件数：94 件 （平成 28 年度貸出件数：22 件）

（2）ボランティア活動

①ボランティア活動センターの運営

（ア）兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の取扱い

平成 29 年度の件数は 139 件、加入者数は 1,375 名でした。（平成 28 年度 144 件・1,396 名）その内、「天災危険補償プラン」の取扱い件数は 1 件、加入者数は 1 名でした。

（イ）ボランティアグループ連絡会

8 グループの代表者により、ボランティア活動に関する連絡調整・企画検討などを平成 29 年度は 2 回開催しました。

（ウ）猪名川町ボランティア活動センター運営委員会

ボランティア活動センターの円滑な運営を図るために、運営委員会を設け 5 名の委員（ボランティア関係・福祉委員・当事者団体・関係行政機関・社協理事）で構成されています。平成 29 年度は 1 回開催し、ボランティア活動センターの事業について協議しました。

○ボランティアに関する相談受付処理状況

(単位:件)

内容	ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	その他法人設立に関する相談	その他	合計	平成28年度実績
一般住民	30	3	0	0	1	1	7	0	6	48	44
ボランティア・市民活動団体	2	3	5	20	12	0	10	0	11	63	94
福祉施設・病院	0	723	0	0	0	0	0	0	2	725	693
行政機関	0	22	1	4	3	1	1	0	3	35	32
社協	1	190	0	0	1	0	0	0	0	192	176
福祉団体	0	7	0	0	0	0	0	0	0	7	34
学校・教育機関	2	8	25	9	1	0	0	0	1	46	56
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	35	956	31	33	18	2	18	0	23	1,116	1,129

ボランティアの活動延べ人数は、1,995名（平成28年度実績2,007名）となり、依頼者ごとの主な活動内容は、以下のとおりです。

一般住民	傾聴活動、活動や作業の手伝い
福祉施設・病院	話相手（傾聴）、活動や作業の手伝い、行事手伝い、レクリエーションボランティア等
行政機関	講演会等での情報保障（手話通訳・要約筆記）、託児等
社協	ふれあい弁当サービスの調理及び配食、声の広報CD作り、「おもちゃ図書館」手作りおもちゃ作り、イベントの手伝い等
福祉団体	イベント等での情報保障（手話通訳・要約筆記）、託児等
学校・教育機関	点字の学習、聴覚障害の学習、認知症サポーター養成講座などの指導等

②ボランティア講座・研修会の開催

平成29年度も、引き続き「第6次地域福祉推進計画」に基づき、住民が参加しやすい講座の開催を目指しました。「災害ボランティア養成講座」をはじめ、開催日時を設定を工夫し、町内事業所へポスターやチラシ配布などのPR活動を行いました。

また、地域住民の方々に社協の活動を知って頂くことを目的に、講座の様子を社協だより、ホームページに掲載し周知に努めました。

(7) サマーボランティアスクール2017

中・高校生、大学生を対象に、夏休み期間に福祉体験活動を中心に福祉への関心を

高めるとともに、ボランティア活動の参加の契機となることを目的として平成4年度より開催しています。

開催日：平成29年7月21日(金)～8月31日(木) 延べ日数：37日

場 所：総合福祉（ゆうあい）センター・天河草子ほか

内 容：介護保険サービス（デイサービス・グループホーム）・障害者福祉サービス（多機能型事業所「希望の家すばる」）・ふれあい弁当作りの活動のほか、ボランティアグループの協力のもと手話・託児・要約筆記・音訳・傾聴の体験などの活動の場を設けました。また、地域福祉活動にも受け入れに協力頂きました。複数の活動を希望する受講生があり、ボランティア活動に触れる機会となりました。

参加者：20名 延べ人数：45名（平成28年度 参加者：19名 延べ人数：43名）

(イ) ボランティアきっかけ講座

既にボランティア活動をされている方や、ボランティアに興味がある方を対象に、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向け、福祉について学び福祉学習で取り入れられることの多い様々な疑似体験などを学びました。受講後は、各小中学校で行われている福祉学習を協力してもらえるボランティアの育成を兼ねることを目的に実施しました。



きっかけ養成講座の様子

開催日：平成29年8月3日・24日・31日

9月7日・14日（木）

10:00～12:00 計5回

場 所：総合福祉（ゆうあい）センター 研修室

内 容：第1回 「福祉学習に臨むポイント」

講師 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学 助教 小林 洋司氏

第2回 「知的障害者疑似体験講座」

講師 たつの市市民グループ ピーす&ピース 会長 矢野 一隆氏

第3回 「高齢者疑似体験」

講師 猪名川町社会福祉協議会 職員

第4回 「視覚障害者疑似体験」

講師 兵庫県視覚障害者福祉協会 猪名川支部 藤竹 とし子氏

ガイドヘルパー 和田 宏栄氏

第5回 「車いす体験」

講師 猪名川町社会福祉協議会 職員

参加者：13名 延べ人数：50名（平成28年度 参加者：16名 延べ人数：45名）

(ウ) 手話ボランティア養成講座（後期）

手話技術の習得を通じて障がいのある方々の現状や立場を理解し、福祉活動への関心を深めていただくと共に、聴覚障がい者の家庭生活・社会生活上のコミュニケーション

ヨンの支援をする手話ボランティアの養成を図ることにより、障がいのある方の福祉の増進に役立てることを目的として手話ボランティア養成講座（後期）を開催しました。

開催日：平成29年9月6日（水）～平成30年2月28（水）

10：00～12：00 計24回

場 所：総合福祉（ゆうあい）センター 研修室

内 容：手話や聴覚障がいの基礎知識について学ぶ

参加者：12名 延べ人数：215名（平成28年度 参加者：9名 延べ人数：147名）

(エ) ちびっこボランティア講座

小学生を対象に、障がいのある方やボランティア等とのふれあいを通じて、子ども達が積極的に福祉やボランティアへ関心を持つ契機となることを目的に開催しました。今回の講座では、町内の身近な方が介助犬を育てるボランティア（パピーウォーカー）をされていることを知ってもらい、ボランティアにも様々な内容があることや、介助犬ユーザーの木村佳友先生のお話も含め、補助犬（介助犬）を知ってもらう機会としました。（保護者同伴で1・2年生の小学生も対象としました。）

（共同募金の地域配分金を活用しています）

開催日：平成29年12月2日（土） 14：00～16：00

場 所：総合福祉（ゆうあい）センター 研修室

内 容：「介助犬を知ろう♪♪」

講 師：日本補助犬情報センター 木村 佳友氏・介助犬デイジー

小山 郁子氏（猪名川町内のパピーウォーカー）・パピー

参加者：30名（平成28年度 参加者：10名）

(オ) 災害ボランティア養成講座

実際の被災地での体験談から学習するとともに、災害時に何が必要なのかを実技体験し、猪名川町や各地で災害が起きたときに活動するボランティアの育成を目的に開催しました。

開催日：平成30年2月17日・24日（土）

10：00～12：00 計2回

場 所：総合福祉（ゆうあい）センター 研修室

内 容：第1回 「丹波市豪雨災害を経験して」

講師 丹波市社会福祉協議会 松浪 豊氏

第2回 「災害時の備えについて」

講師 猪名川町防災士会 会長 北村 隆幸氏

参加者：37名（平成28年度 参加者：20名）



手話ボランティア養成講座の様子



ちびっこボランティア講座の様子



災害ボランティア養成講座の様子

(カ) 傾聴ボランティア養成講座

地域や人とのつながりが希薄になっている昨今、人と話す機会の少ない高齢者や障がい者・子育て中の方々等、さまざまな想いや言葉に耳を傾けてくれるボランティアが求められています。この講座を実施することにより、福祉系ボランティアの基本でもある「聴く」ことを学びボランティア活動に結びつけることを目的とし開催しました。

開催日：平成29年8月8日・29日（火）

10：00～15：00 計2回

場 所：社会福祉会館 大ホール

内 容：コミュニケーションの基本・傾聴の基本等、
傾聴に関する基本技術を学ぶ

講 師：アクティヴリッスン 代表 澤村 直樹氏

参加者：80名



傾聴ボランティア養成講座の様子

(キ) 要約筆記啓発講座

聴覚障がい者のためのコミュニケーション手段の一つである「要約筆記」について広く町民の方に知って頂くと共に、障がいがある方々の置かれている現状やその立場を理解し、福祉活動への関心を深めていただき、聴覚障がい者の社会参加を支援する要約筆記ボランティアの啓発を図ることを目的として実施しました。

開催日：平成29年9月28日・10月5日・12日・26日（木）

10：00～12：00（最終日のみ12：30まで） 計4回

場 所：猪名川町総合福祉（ゆうあい）センター 研修室

内 容：聴覚障害の基礎知識・要約筆記について

講 師：第1回 伊丹市立発達支援センター 言語聴覚士 櫻井 勝央氏

第2回 認定補聴器専門技能士 中川 良雄氏

第3回 「難聴者の体験談」 難聴者当事者 坂本 美佐子氏

第4回 「難聴者の体験談」 難聴者当事者 有本 富美子氏

「福祉制度について」 福祉課 大西主幹

第3・4回 要約筆記ゆきんこ 要約筆者山本氏ほか1名により指導

参加者：21名 延べ人数：73名（内、難聴者は2名参加）



要約筆記啓発講座の様子

(ク) ボランティア交流会

登録ボランティアグループにおいても、他グループのメンバーと横のつながりが薄く、交流する機会が少ないため、交流して情報交換を行い、ボランティアグループの活動を啓発する方法を皆で検討することを目的に実施しました。どのような方がボランティア活動を行っているのか、地域ではどのようなニ



「ボランティア交流会」の様子

ーズがあるのか等を共有し、ボランティアグループの活動を広く町民に啓発し、興味のある方には、活動へ参加していただきグループメンバーの増員を図る方法などについて話し合いを行いました。

開催日：平成 29 年 12 月 13 日（水） 14：00～16：00

場 所：社会福祉会館 講義室

内 容：登録ボランティアグループの啓発活動について・ボランティアの交流情報交換会

参加者：12 名（平成 28 年度 参加者：34 名）

③ボランティアの啓発等

(7) ボランティアの啓発

「健康福祉まつり」において、当協議会のブースでは、ボランティア適正のフローチャートやボランティア活動のリーフレット配布・ボランティア募集チラシの配布、舞台 PR などを通じて、ボランティア活動の啓発を行いました。

また、登録ボランティアグループがそれぞれパネル展示や活動の PR、ボランティア体験等を実施しました。

○参加ボランティアグループ及び啓発内容

グループ名	内 容
音訳ボランティア「リヴィエール」	録音（音訳）体験・活動 PR
調理ボランティア「えぷろん」	活動 PR（ふれあい弁当）
手話サークル「マジック」	手話体験・活動 PR
要約筆記「ゆきんこ」	要約筆記の体験・字幕付き映画の上映・活動 PR
点訳ボランティア「てんてまり」	点字体験・活動 PR
パソコンボランティア「夢ネットいながわ」	パソコンを利用したオリジナルカード作り・活動 PR
傾聴ボランティア「みみい～な」	傾聴サロン・活動 PR
託児ボランティア「ぼんぽこ」	（参加を見合わせられました。）

(4) 啓発用冊子等の作成・配布

ボランティアに関心のある方、初めて活動をする方に、わかりやすい啓発リーフレット「いっしょにやろうボランティア」や、ボランティア・福祉学習の詳細を記載した啓発冊子「レッツトライボランティア」を配布しました。冊子は学校での福祉学習体験や地域住民にも配布し、啓発に努めました。また、「ふれあい伝言板」を活用して情報発信に努めました。（共同募金の地域配分金を活用しています）

(3) 障害者（児）福祉活動

①ふれあい交流活動

(7) ふれあいバスツアーの開催

障がいのある方とその家族、ボランティア等の方々との交流や仲間づくりを目的に「ふれあいバスツアー」を実施しました。行き先はアンケートでいつも行きたいという声が多かった「ユニバーサルスタジオジャパン」でした。当日は、あいにくの雨でしたが、参加者同士での交流や親睦を図り、参加者からは「初めてのUSJとても楽しかったです。」「ミニオンのアトラクション、楽しかったです」等の声が聞かれ、楽しい1日となりました。（共同募金の地域配分金を活用しています）



開催日：平成 29 年 9 月 16 日（土）

場 所：ユニバーサルスタジオジャパン

参加者：30 名（平成 28 年度 参加者：32 名）

(1) 障害者ふれあい運動会の開催

障がいのある方とその家族、ボランティアが共にスポーツ・レクリエーションを楽しみながら、仲間や生きがいづくりとして、「障がい」の壁を乗り越え、お互い理解を深め合い、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることを目的として、毎年 6 月に開催しています。今年より猪名川町文化体育館（イナホール）での開催となり、新しく「大玉転がし」の競技なども加わりました。また、昨年度に引き続き、小学校にもチラシを配布したことにより、昨年度と比べ、小学生の参加も多くなりました。



協力団体・機関：猪名川町手をつなぐ育成会・猪名川町身体障害者父母の会・猪名川町ろうあ協会・猪名川園・猪名川体操協会・要約筆記ゆきんこ・手話サークルマジック・猪名川町民生委員児童委員協議会・猪名川町福祉委員会・猪名川町 福祉課

開催日：平成 29 年 6 月 24 日（土）

場 所：猪名川町文化体育館（イナホール）

参加者：150 名（平成 28 年度 参加者：120 名）

内 容：①元気にダンス！ダンス！ ②大玉転がし ③狙って命中！ ④応援合戦！ ⑤サイコロ出た目でパン GET！ ⑥パラバルーンで 大空へ

②地域啓発活動事業

イナワイ（地域交流活動）

平成 24 年度より、障がいのある方との交流や地域における障害者福祉等への啓発

活動を目的として、定例会を開催し、当事者のエンパワメントを大切にしながら、今年度も啓発活動等に取り組みました。今年度は、“農”プロジェクトの最終年であり、昨年に引き続き、NPO法人元気ファーマーいながわの皆さんとさつまいもを植えました。7月にはミニ収穫祭のイベントや10月には収穫したさつまいもを使ってスイートポテトや焼き芋作り等のイベントを実施しました。(共同募金の地域配分金を活用しています)



③障害者自立支援

(7) 障害者多機能型事業所「希望の家すばる」

平成29年度は、各事業における収支の安定化のための取り組み、利用者支援の一環として看護師配置の充実を実施し、利用者支援体制の強化に取り組みました。

・就労継続支援B型事業

平成29年度は、就労支援や工賃の増額へ向けた取り組みに力を入れました。作業プログラムにおいては、難しい内職作業への取り組み、また、地元農家の依頼に応じて、野菜の袋作りなど新たな取り組みを行い、利用者工賃の増額に向けた活動ができました。

○就労継続支援B型事業の利用状況

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成29年度	実利用者数	17	17	18	18	18	17	17	16	15	15	15	15	
	延利用者数	295	307	345	307	313	287	287	266	257	249	256	289	3,458
平成28年度	実利用者数	18	18	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	
	延利用者数	316	303	370	329	323	285	311	324	309	289	327	342	3,828

○就労継続支援B型事業の工賃支給状況

(単位：円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成 29 年度	工賃支給額	160,750	114,350	125,600	127,000	137,350	104,750	83,800
	平均個人支給額	9,455	6,726	6,977	7,055	7,630	6,161	4,929
平成 28 年度	工賃支給額	123,500	128,050	171,650	118,400	106,000	161,950	119,600
	平均個人支給額	6,861	7,114	9,034	6,578	5,579	8,524	6,295
		11月	12月	1月	2月	3月	計	
平成 29 年度	工賃支給額	148,300	134,800	200,700	119,400	147,924	1,604,724	
	平均個人支給額	9,269	8,986	13,380	7,960	9,861	8,199	
平成 28 年度	工賃支給額	191,850	142,300	115,350	166,700	206,824	1,752,174	
	平均個人支給額	10,097	7,489	6,408	9,261	11,490	7,894	

・生活介護事業

自立した日常生活または社会生活を営むことができるようになることを目的に、日中活動や日常生活上必要な生活支援等を行いました。音楽レクリエーションや活動等を通じて地域のボランティアの方々と交流の機会をもちました。又、外出のプログラムとして、初めての遠出にも挑戦し「エキスポシティ」へ出かけました。日中活動の充実を重点に取り組みました。

○生活介護事業利用状況

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 29 年度	実利用者数	20	19	20	20	19	19	19	19	18	18	19	19	3,955
	延利用者数	324	326	371	335	343	338	349	320	323	286	304	336	
平成 28 年度	実利用者数	18	18	17	19	20	20	20	20	20	20	20	19	3,779
	延利用者数	306	295	331	312	328	306	323	320	314	285	317	342	

(イ) 障害者日中一時支援事業

家族の都合での利用が多く、今年度も昨年に引き続き、日中一時利用専任の職員による支援を行うことで、充実した支援を目指しました。

○日中一時支援利用状況

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成 29 年度	実利用者数	3	6	5	6	5	4	4	5	6	4	4	5	129
	利用延人数	12	14	13	15	13	8	12	8	8	10	6	10	
平成 28 年度	実利用者数	4	6	6	8	7	7	6	5	3	3	3	4	212
	利用延人数	15	21	25	28	20	20	27	17	11	3	10	15	

(ウ) 移動支援事業

平成 29 年度は、サービス提供を担う専門職員不足により利用者数が激減したことで、前年度対比で大幅な減となりました。それに伴い、新規職員の採用を行うなど、利用者増加に向けて取り組んでいます。

○移動支援事業利用状況

(単位：人・日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 29 年度	実利用者数	8	8	9	7	7	5	6	4	2	2	2	3	196
	延利用日数	29	29	31	24	20	15	16	15	4	4	4	5	
平成 28 年度	実利用者数	12	9	8	8	7	8	9	6	7	6	5	7	297
	延利用日数	32	28	26	26	22	25	29	24	24	19	19	23	

(I) 地域活動支援センター

平成 29 年度の特徴として、本支援センターを利用する中で生活リズムが整った利用者が将来の就労を目指し、障害者職業能力開発校や就労継続支援B型事業所などに移ったケースが増えました。また創作活動に於いて、地域在住の講師の方を招き、交流とともにプログラムの充実を図りました。

○地域活動支援センター事業利用状況

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	実利用者数	15	13	14	14	14	14	13	15	15	14	13	16	1,351
	延利用者数	116	121	114	113	98	103	112	109	106	113	101	145	
平成28年度	実利用者数	12	11	11	15	12	13	13	14	14	15	14	15	1,195
	延利用者数	85	91	86	88	94	93	100	109	109	109	108	123	

(オ) 障害者ホームヘルパー事業

障がい(身体・知的・精神)があるため、日常生活を営むことに支障がある障がいの者の自宅にヘルパーが訪問し、身体介護(身の回りの支援、食事、入浴、排泄等の介助・介護)、家事援助(調理、洗濯、掃除、買物等の必要な家事)、相談・助言・その他(生活・介護に関する相談)サービスを実施しました。

平成29年度は、身体介護・家事援助ともに、利用者の増減はないものの延べ利用件数が減少する中、精神障がいの方の利用割合は多くなっています。事業の実施にあたり、家族、相談支援センターや行政等、関係機関と連携を図りながら、個々の障がいに応じた細やかな支援や、他事業所では対応困難なケースなどを率先して受け入れるよう努めました。

○障害者ホームヘルパー利用実績

(単位:人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
平成29年度	実利用者数	11	15	15	16	11	12	12	10	11	10	10	10	1,466	4,625 千円
	延利用者数	122	148	185	125	108	119	114	111	111	107	106	110		
平成28年度	実利用者数	9	11	11	11	11	12	13	12	11	11	12	10	1,742	5,937 千円
	延利用者数	158	139	134	147	138	158	165	151	140	150	134	128		

(カ) 障害者地域生活支援事業・相談支援事業

障害者総合支援法の障害者地域生活支援事業における相談支援事業を町より受託し、基本相談支援(生活支援・就労支援)、計画相談支援を行いました。基本相談支援では、障がいのある方やその家族が安心して地域で暮らしていけるように必要に応じて関係機関等とも連携しながら支援を実施しました。新規相談が増えたこともあり延

べ相談件数は大幅に増加しました。また、計画相談支援では、本人に合った適切なサービスが利用できるようにサービス等利用計画を作成するとともに、その計画が本人にとって適切かどうか、他に課題はないか定期的なモニタリングを行いました。その他、猪名川町障害者自立支援協議会の専門部会（生活・就労・教育）事務局として各部会に参加し、障害児・者が安心して暮らせる町づくりのため諸課題についての検討を行いました。

○障害種別相談等延べ件数（基本相談）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 29 年 度	身体	10	0	11	14	17	8	6	5	3	9	7	7	97
	知的	13	17	16	11	16	11	16	7	14	19	6	11	157
	精神	47	50	50	32	32	21	44	23	15	25	31	17	387
	重症心身	2	0	2	0	0	0	1	1	1	0	5	3	15
	発達	12	5	18	13	12	12	8	12	4	1	7	10	114
	高次能	0	2	1	1	3	0	0	0	0	0	1	0	8
	その他	23	29	21	7	3	9	6	9	8	2	1	8	126
合計		107	103	119	78	83	61	81	57	45	56	58	56	904
平成 28 年 度	身体	3	7	5	1	1	2	4	4	3	18	9	6	63
	知的	25	16	12	13	15	10	12	11	18	12	14	20	178
	精神	18	18	15	15	16	19	25	21	10	13	22	36	228
	重症心身	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	8
	発達	4	5	1	3	6	13	5	8	4	3	9	7	68
	高次能	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	1	3	10
	その他	9	3	2	10	2	5	4	0	2	5	10	23	75
合計		63	51	36	43	42	49	50	44	37	51	67	97	630

○計画相談支援実績

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
平成 29 年 度	実利用者数	33	43	21	23	20	29	29	46	45	7	22	14	332	6,145千円 （延 2,268 件）
平成 28 年 度	実利用者数	16	28	41	29	23	16	21	48	50	25	38	24	359	6,417千円 （延 1,857 件）

(キ) 声の広報等発行事業

文字による情報入手の困難な視覚障がいのある方に、音訳ボランティア「リヴィエール」、点訳ボランティア「てんてまり」の協力を得て、町広報・社協だより・議会だより・人権いながわ・選挙公報等の音訳・点訳への編集・発行をしました。また、本事業のPRチラシを配布し啓発にも努めました。音訳CDや点訳物は図書館や福祉課等にも配布し、平成29年度の利用者数が3名、延べ人数で75名となりました。(平成28年度の利用者数は3名、延べ人数75名)



(ク) 障害児療育支援事業

町からの受託事業として言語聴覚療法、理学療法、作業療法(言語聴覚療法と作業療法は週2日)を週5日実施しました。平成29年度は実利用者数が100名、延べ利用者数で938名の利用があり大幅な利用増となりました。(平成28年度は、実利用者が71名、延べ利用者数で756名)

(4) 高齢者福祉活動

①介護保険サービス事業

(7) 訪問介護事業(ホームヘルパー)

ホームヘルパーが自宅へ訪問し、食事・入浴・排泄等の支援をする身体介護、掃除、洗濯、調理等の生活援助を行いました。

平成29年度は、利用者数・延べ利用者数の増加に伴い、実績額も増加となりました。今後も町内居宅事業所との連絡を密にとり、利用者確保に努めます。

○訪問介護事業利用件数

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
平成29年度	実利用者数	69	65	66	68	69	67	67	66	63	63	61	60	7,076	22,372 千円
	延利用者数	609	583	601	600	642	600	633	606	548	525	538	591		
平成28年度	実利用者数	62	64	63	62	63	65	59	66	63	61	67	66	6,375	20,652 千円
	延利用者数	485	497	504	520	571	535	504	547	502	501	550	659		

(イ) 通所介護事業（高齢者デイサービス）

入浴や食事等の支援を日帰りで行っています。人材不足の解消に向けた取り組みや、口腔機能向上訓練や介護予防運動など新たなセールスポイントを作ることで、より良いサービス展開を行い、新たな利用者の支援につながるよう努めましたが、延べ利用者数での微減により実績額が減少となりました。

○通所介護事業利用件数

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
平成29年度	実利用者数	77	77	76	80	80	80	80	79	77	74	76	80	61,564 千円	
	延利用者数	639	678	647	679	688	697	710	686	623	559	607	723		7,936
平成28年度	実利用者数	80	79	77	80	76	80	78	77	80	76	76	76	62,291 千円	
	延利用者数	715	718	662	695	713	701	695	685	629	571	616	654		8,054

(ウ) 認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）

認知症高齢者に対し、その有する心身の能力に応じて共同生活住居で自立した日常生活を営むことができるよう、家庭的な環境のもとで入浴・排泄・食事などの支援及び機能訓練を提供しています。平成29年度は、4月に2名の退所がありました。新規利用者2名を確保し満床に努めました。なお、本事業は経営状況の悪化もあり平成29年度末に閉所となりました。

○認知症対応型共同生活介護事業利用実績

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
平成29年度	実利用者数	4	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	3	23,150 千円	
	延利用者数	120	142	150	186	186	180	186	180	186	186	140	73		1,915
平成28年度	実利用者数	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	24,253 千円	
	延利用者数	150	155	150	170	186	180	186	180	186	186	140	137		2,006

②生活支援事業

軽度生活援助事業

日常生活で手助けを必要とする高齢者、障がい者を対象に社会とのつながりを持ちながら安心した生活が送れるよう、外出時の援助、食事・食材確保などの軽度の援助サービスを提供しました。また、介護保険制度の支給限度額超過などで介護保険サービスが保険給付外となる方に対して、本事業を利用していただき日常生活支援を実施しました。

平成 28 年度に比べると、入院や転居により利用者数は減っていますが、継続利用や身体介護のサービス利用により、実績額は微増となりました。

○軽度生活援助事業利用件数

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
平成 29 年度	実利用者数	6	8	7	9	9	8	7	9	8	9	6	6	1,059 千円	
	延利用者数	43	41	52	52	43	64	57	58	53	51	45	37		596
平成 28 年度	実利用者数	10	11	11	13	11	12	11	12	14	11	11	7	922 千円	
	延利用者数	34	38	24	30	41	54	38	49	43	40	44	49		484

③地域支援事業

(7) 介護予防普及啓発事業（新規）

平成 29 年度からの新規事業として、食を通じて、地域の方の居場所づくりや閉じこもり予防を実施することを目的として、老人会や地域サロン等で健康教室や試食会、食事会を実施しました。9 地区、11 回、延べ 229 名の参加がありました。また、平成 28 年度まで高齢者食生活改善事業で年 1 回実施していた健康づくり講演会は、介護予防として食事面から健康長寿を進めていくため、平成 29 年度は 2 回実施しました。平成 29 年 7 月 26 日に服部幸應氏を講師に迎え実施した健康長寿講演会「食と健康・味が強くなれば人生 2 倍楽しい」は、老人クラブ連合会・民生委員児童委員協議会と共催し、300 名程の参加がありました。平成 29 年 11 月 19 日に実施した試食付き講演会「健康寿命を延ばす食事の秘訣」は、福祉委員会の福祉講演会を兼ねて、108 名（一般 77 名、福祉委員 31 名）の参加がありました。講演に加え、4 品の調理の実演および試食を実施し、参加された方々から勉強になったとの声が多く聞かれました。福祉委員 10 名には、試食づくりにも担当していただきました。

○健康教室実施実績

地区名	団体名	内容（食事・試食付き）	参加人数（名）
東山	東山老人会	夏バテ予防	14
猪名川荘苑	荘苑なごやか食事会	健康長寿のための食事の秘訣	18
白金小校区	白金ほっとサロン絆	認知症予防	30
猪名川台	猪名川台いこいの会	健康長寿のための食事の秘訣	26
栃原	栃原老人会	健康長寿のための食事の秘訣	18
つつじが丘	つつじが丘ダイヤモンドクラブ	健康長寿のための食事の秘訣	21
旭ヶ丘	旭ヶ丘自治会	減塩について	21
伏見台	伏見台サロン	減塩について	24
若葉	若葉いきいき教室	骨粗鬆症予防	19
猪名川荘苑	荘苑ほっとサロン	骨粗鬆症予防	22
猪名川台	猪名川台いこいの会	春のおもてなし（料理教室）	16
計 9地区／11回			計 229

（イ）高齢者食生活改善事業

地域支援事業の一環として、高齢者の食生活改善を支援するため、管理栄養士による相談活動や食事指導を行いました。家庭訪問指導、個別相談、集団指導等の依頼は全て対応し、栄養・食事指導の件数は増加となりました。中でもデイサービスにおける個別での食事形態対応に力を入れ、平成28年度に比べ約3倍の230件となったこともあり、高齢者食生活改善事業での相談・指導及び講習会での延べ件数は331件、対象人数476名となりました。（平成28年度 延べ件数は179件、対象人数339名）

○食事相談・指導実績

指導・相談形態	件数（件）	対象人数（名）
家庭訪問指導	49	49
個別相談	38	38
集団指導	14	159
デイサービスにおける食事形態個別対応	230	230
計	331	476

（ウ）認知症初期集中支援事業（新規）

平成28年度から準備、平成29年度から新たに支援チームを立ち上げ始動した事業です。支援チーム員は、認知症サポート医、主任介護支援専門員、看護師、町福祉課職員で構成され、月1回の支援会議を開催しました。チーム員が家族の訴え等により認知症が疑われる方やその家族を訪問、観察・評価、家族支援などの初期支援を包括的、集中的に実施しました。早期に対応することにより自立生活の維持向上に努めました。平成29年度、初期集中支援件数は12件となりました。

○初期集中支援実績

【面談・専門医への受診勧奨】	件数(件)	【最終引き継先】	件数(件)
訪問・本人との面談	12	入院	2
専門医の受診へ(未受診10件中)	5	ケアマネ・介護保険	2
認知症の検査へ(未診断11件中)	4	居宅療養管理指導	1
※専門医への受診、認知症検査については、本人の強い拒否があり、受診や検査に至らないケースあり		脳の健康教室	1
		見守り中・かかりつけ医との連携中	3
		非該当(認知症でない、精神疾患など)	3

(I) 地域介護予防活動支援事業

・高齢者健康長寿体操教室事業

平成26年10月より、健康寿命を延ばすために、身近な地域での体操教室が展開されています。平成28年度までに、若葉、旭ヶ丘、松尾台、伏見台、猪名川台、パークタウン東、木津東山、清水、北田原、上阿古谷、つつじが丘の11箇所でモデル事業が実施され、その後自主教室として継続実施されました。

平成29年度には、猪名川荘苑、木津上、柏原の3地区が3ヶ月間のモデル事業を実施し、いずれの地区も自主教室として継続実施されています。生活支援コーディネーターと地域包括支援センターが連携し、地域との打合せとモデル事業での身体測定、アンケート調査、教室運営について随時相談で関わりました。

・脳の健康教室モデル事業(新規)

平成29年度から公文の学習療法を取り入れた「脳の健康教室」モデル事業を実施しました。8月には教室サポーターの養成講座を行い39名のサポーターが誕生しました。教室は10月から半年間実施、想定以上にサポーターが集まったこともあり、当初20名だった定員枠を広げ、申込みのあった29名全員の受け入れを決定し、週1回日生公民館にて開催しました。

公文監修の計算と音読、数字盤を組み合わせ、簡単な問題をスムーズに解くこと、声に出して文章を読むことが前頭葉の活性化に効果があるという研究結果に基づいたカリキュラムに取り組み、また猪名川町独自に簡単なチェア体操を取り入れ、学習と運動を組み合わせ提供後、交流の場として茶話会を実施しました。

教室の開始日と最終日に行った認知症簡易検査の結果、約8割の方の認知機能が向上しており、認知症予防に一定の効果がありました。また、教室の最後には茶話会でサポーターや参加者同士の交流が深まり、「脳の健康教室」が認知症予防と集いの場の提供という形で、更に地域への拡充を図ります。

・ふれあいいいききサロン開設支援等助成事業(新規)

地域の方が支え合い、いつまでもいきいきと安心して暮らせるよう、地域の住民が主体となり身近な場所で交流を深める居場所づくりを立ち上げるための支援を行いました。平成29年度は、10箇所の地域でサロンが開設拡充され、高齢者をはじめ

地域の住民の居場所となりました。

○平成 29 年度 ふれあい・いきいきサロン開設実績

地域名	延べ参加人数(名)	地域名	延べ参加人数(名)
旭ヶ丘	175	つつじが丘	104
猪名川台	171	広根	77
荘苑	117	伏見台	240
島	189	松尾台	237
白金	180	若葉	130

※延べ参加人数は実績報告がされた3ヶ月間

(オ) 地域包括支援センターの運営

町の委託を受け、高齢者が自立して生活できるよう、総合相談（権利擁護）、介護予防ケアマネジメント、介護支援専門員（ケアマネジャー）支援などの事業を実施しました。平成 29 年度も、複合的な課題（高齢者と障がい者の複合世帯、生活困窮とゴミ問題、認知症と独居、精神疾患等）を抱える相談が、民生委員・児童委員や介護サービス事業者、病院の医療相談員等の多岐にわたる団体・機関からの相談が増えています。その中でも支援困難ケースについては行政機関との連携を図りながら支援を行いました。相談件数は年々増加傾向で、平成 28 年度に引き続き認知症の初期相談や遠距離介護の問題等の相談が顕著となりました。介護予防プラン（介護予防ケアマネジメント含む）が増加する中、町内外の居宅介護支援事業所でのプラン委託が難しい状況が継続しています。

○総合相談件数

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 29 年度	総合相 談実件 数	17	23	33	44	24	61	80	75	72	92	92	82	695
	総合相 談延べ 件数	74	82	100	123	92	95	111	116	109	153	139	136	1,330

○介護予防プラン作成件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括支援センター	129	124	125	130	122	122	116	119	126	122	123	126	1,484
居宅介護支援事業所へ委託	208	201	217	221	226	231	233	240	231	225	229	218	2,680
合計	337	325	342	351	348	353	349	359	357	347	352	344	4,164

○介護支援専門員（ケアマネジャー）支援

平成 29 年度より、「猪名川町サービス事業所連絡会」が発足し、奇数月に開催、偶数月には「猪名川町介護支援専門員連絡会」として開催しました。地域包括支援センターはサポート役として、本連絡会の会長、副会長、担当主任介護支援専門員と共に企画、運営を行いました。介護支援専門員の技量向上（スキルアップ）支援、また民生委員・児童委員との交流会を通じて地域と繋ぐパイプ役機能を担いました。研修会を開催「ホワイトボード会議でチームケア向上」と題して演習を交え、28名の参加がありました。また、オープン講座として、ひょうご若年性認知症生活支援相談センターに依頼し、「若年性認知症の方の想いに触れる」と題し、60歳代の若年性認知症当事者を迎え、当事者本人の言葉で想いを語る機会を設け、地域住民や専門職など37名が参加しました。

○出前講座

社協の出前講座を地域包括支援センターが中心に行っています。これまでは、社協職員で、地域の老人会、福祉委員会等で開催していましたが、平成 29 年度は、地域の事業所専門職員と地域住民の出会う場づくりを目的に、町内事業所の専門職員による出前講座講師登録制を開始しました。全 24 回開催うち 9 講座で地域事業所の専門職員で開催することができました。地域の受講者だけでなく登録専門職員からも好評を頂き、今後も継続・拡大に取り組めます。

○出前講座開催実績

	開催日	テーマ	参加者数	主催団体/開催場所	地域事業所 専門職員
1	4月9日	認知症予防・脳トレ	38名	紫合老人クラブ 紫友会 紫合公会堂	—
2	4月12日	脳トレ	42名	むつみ会（若葉） パークハウス集会所	—
3	5月9日	介護保険制度と地域包括支援センターについて	57名	民児協定例会 社会福祉会館大ホール	—
4	6月7日	お口から始まる健康長寿・脳トレ	16名	杉生老人クラブ 杉生自治会館	—
5	6月14日	高齢期に多い疾患、脳トレ	15名	猪淵老人会 猪淵公会堂	訪問看護はるか 看護師
6	6月28日	コグニサイズ（認知症予防体操）	5名	銀山老人会 銀山公会堂	天河草子 介護員
7	7月1日	お口から始まる健康長寿（フレイル予防）・脳トレ	10名	西畑老人会・健笑教室 西畑公会堂	—
8	7月28日	脳トレ	20名	笹尾老人クラブ ゆうあいセンター	—
9	9月1日	お薬の話	6名	西畑老人会・健笑教室 西畑公会堂	ライフオート薬局 薬剤師
10	9月17日	食事の話	24名	旭ヶ丘老人会 ゆうあいセンター	—
11	9月28日	認知症予防・脳トレ	12名	旭ヶ丘体操教室 旭ヶ丘自治会館	ダズキナルスリート 福祉用具専門員
12	10月7日	電動カート試乗会	17名	杉生老人会 杉生自治会館	福祉用具ひまわり 福祉用具専門員
13	10月14日	健康教室・転倒予防体操	43名	松尾台・みどり会 松尾台集会所	レイズ治療院 マッサージ 指圧師
14	10月18日	コミュニケーション麻雀	5名	銀山老人会 銀山公会堂	—
15	10月19日	脳トレ	13名	白金、ほっとサロン絆 白金まち協会館	天河草子 介護員
16	11月10日	コミュニケーション麻雀	22名	つつじが丘 ふれあいサロンザリアホール	—
17	11月12日	脳トレ・コグニサイズ（認知症予防体操）	20名	NPO 在宅介護を考える会 日生公民館（和室）	—

18	12月5日	介護保険制度と地域包括支援センターについて	14名	六瀬地区委員会 社会福祉会館 会議室	—
19	12月14日	体操教室・体力測定	15名	旭ヶ丘体操教室 旭ヶ丘自治会館	—
20	12月20日	認知症サポーター養成講座	72名	北陵高校 北陵高校	—
21	12月27日	認知症初期集中事業啓発	34名	若葉体操教室 若葉自治会館	—
22	2月16日	シニアライフデザインについて	27名	若葉熟年クラブ 若葉自治会館	ファイナンシャルプランナー
23	2月18日	楽しく脳トレ	7名	白金県住プチサロン 白金県住	—
24	2月27日	季節に合わせた健康の話	15名	東山クラブ 東山自治会館	訪問看護はるか 看護師
合計				延べ 549 名/24 団体 (平成 28 年度延べ 470 名/21 団体)	6 事業所



西畑老人会 出前講座の様子



杉生老人クラブ 出前講座の様子



銀山老人会 出前講座の様子



松尾台みどり会 出前講座の様子

(カ) 家族介護支援事業

・介護ほっこりおしゃべり会

奇数月の第3金曜日 10:00~12:00 にゆうあいセンターグループホーム和室にて

開催しました。延べ 25 名の参加がありました。介護に関する話だけでなく、当事者が集える場所の提供に努めました。参加者からも、当事者が気軽に寄れる場所を探しているという相談もありました。11 月にはミニ講座（認知症予防体操）を取り入れるなどの試みも行いました。

・家族介護教室

内 容：『成年後見制度って？～事例をとおして～』

開催日：平成 30 年 2 月 3 日（土）10 時～12 時

参加者：23 名

平成 28 年 5 月 13 日付で施行された『成年後見制度の利用の促進に関する法律（略称：成年後見制度利用促進法）』により、市町村毎にこの制度の利用が増えるよう必要な措置を講ずるよう努めるものとされています。

地域包括支援センターでは、近年、この制度利用に関する相談から家庭裁判所への申立に係る書類の書き方の助言や、身寄りに乏しい方への町長申立支援にも携わりました。しかし、住民への啓発が不十分なことから『成年後見制度って？～事例をとおして～』のテーマで教室を開催しました。参加者からは、認知症の家族や障がい者の家族など、これから具体的に手続きを検討する上で、手続き上の疑問や後見人の仕事内容、後見人の想い等、様々な視点での知識情報が得られ、成年後見制度への理解、不安解消となりました。

・認知症カフェ

認知症カフェを立ち上げるにあたり、地域住民や専門職と協働できないかと考え、平成 30 年 2 月に「認知症カフェを考えるワークショップ」を開催しました。認知症専門職 3 名、地域住民 18 名、計 21 名が参加され、認知症カフェ立ち上げの模擬を行いました。参加者アンケートから認知症カフェへの関心は高く、平成 30 年度には、猪名川町に見合ったカフェモデルを検討していきます。

・認知症高齢者見守り支援事業

『やすらぎ支援員』（認知症の基礎知識・接遇研修受講者）が、認知症高齢者の自宅を訪問し、見守りや話し相手を通じて『なじみの関係』を作ることで、その方の心身の安定を図り、すこやかな在宅（住み慣れた地域で）生活が送れるように支援するとともに、認知症高齢者を介護する家族の介護負担軽減を図ることを目的としています。平成 29 年度は利用者数に大きな変化はなく、5 名、利用延べ時間が 81.5 時間となりました（平成 28 年度 利用者数 5 名 利用延べ時間が 78.5 時間）。当事業利用後にデイサービスや入所施設などへの移行がスムーズとなりました。

・認知症サポーター養成講座

平成 17 年度より厚生労働省が推進する「認知症サポーター100 万人キャラバン」の一環で、猪名川町でも平成 20 年度から地域包括支援センターが事務局となり、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。認知症への正しい理解、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮せるまちを地域住民の手によってつくっていくことを目指す、全国的な取り

組みです。

平成 29 年度は認知症サポーター養成講座 21 回、行方不明者発見・搜索訓練 4 回行い、454 人の認知症サポーターを養成、平成 20 年度から累計 2,952 人となりました。具体的な活動としては、イオンモール猪名川従業員向けの座学と行方不明者発見・搜索訓練。町内 8ヶ所の育成室で夏休み期間を利用したのキッズサポーター養成講座の開催。認知症啓発活動として、健康福祉まつりにキャラバン・メイトの紹介ブースを設け、ミニ搜索訓練やロバ隊長のマスコット作り、認知症関連冊子の配布、物忘れ診断に取り組みました。

○認知症サポーター養成講座等・養成サポーター実績

	開催回数（回）	サポーター数（名）
平成 29 年度	25	454
平成 28 年度	29	540
平成 27 年度	18	387
平成 26 年度	14	458
平成 25 年度	3	62
平成 24 年度	8	211
平成 23 年度	5	99
平成 22 年度	4	73
平成 21 年度	10	540
平成 20 年度	4	128
平成 20 年度～累計	120	2,952



つつじが丘育成室認知症サポーター養成講座の様子



六瀬中学校区認知症行方不明者搜索・発見訓練の様子

(キ) 生活支援体制整備事業

介護保険制度改正により始まった介護予防・日常生活支援総合事業のひとつとして、町の委託を受け、生活支援コーディネーターを配置しています。「いつまでも安心して暮らし続けることができる地域づくり」の実現に向けて、町や地域包括支援センター等、地域の多様な機関・団体と連携し、地域での介護予防・生活支援サービスの充

実のため、ネットワークづくりや住民同士の支えあいの活動支援、構築を目指す事業です。平成 29 年度は、ふれあい・いきいきサロン開設支援等助成事業を町から委託を受け、高齢者の閉じこもり予防と地域の方の交流の場づくりを目的として、住民主体でのサロンの立ち上げ支援を行い、合わせて 10 箇所の地域でサロン開設等を行いました。また、地域での新たな担い手育成として「生活支援サポーター養成講座」を開催、生活支援を行う人材育成に取り組みました。他にも、他市町の取り組み状況を知る機会として、阪神 7 市 1 町の生活支援コーディネーター意見交換会にも参加し、情報収集に努めました。

(ク) 地域ふれあい事業

・「ふれあいの場」運営補助事業

町の補助・支援を得る中、地域の高齢者が孤立することなく、安心して暮らし、世代を超えた地域の交流の場づくりを進める上で、地域住民のつながりの再構築の一助となることを目的として、「ふれあいの場」運営補助事業を平成 16 年度より実施しています。平成 29 年度は、若葉自治会より申請があり、運営助成を行いました。

○ふれあいの場（いこいの家）利用実績

	開所日数（日）	延べ利用数（名）	子供利用（名）	高齢者利用（名）	その他（名）
平成 29 年度	290	4,622	3,008	1,357	257
平成 28 年度	291	4,415	2,703	1,503	209

・高齢者健康促進事業の助成

町内の高齢者のふれあいと健康促進を目的として、町老人クラブ連合会主催の「グラウンドゴルフ大会」（平成 29 年 10 月 18 日開催、参加者約 220 名）に運営助成をしました。（本事業は、赤い羽根共同募金配分金により実施しています）

(5) 福祉教育活動

①福祉教育協力校の指定

急速に進む少子高齢社会を担う世代の育成として、誰もが地域社会の一員として互いに支えあえるような豊かな心を育む教育の必要性が求められています。昭和 59 年度より毎年町内の小中学校を福祉教育協力校として町内全ての小学校 6 校と中学校 3 校を指定し、校区内の高齢者との交流やボランティア体験等の福祉体験を積極的に取り組みました。（共同募金の地域配分金を活用しています）

②「福祉学習を考える集い」の開催

学校や地域での福祉学習では、自ら学び考える「生きる力」を育むことを目的に様々な形で実践されています。そこで、福祉学習の取り組み方について、基本的な考え方や、学校や地域で身近に出来る福祉学習の取り組み方を学び、より充実したものとなることを猪名川町の福祉学習が目的に実施しました。(共同募金の地域配分金を活用しています)



「福祉学習を考える集い」の様子

開催日：平成 29 年 8 月 3 日(木) 10:00~12:00

場 所：総合福祉(ゆうあい)センター 研修室

参加者：小・中学校教員及び学校関係者
民生委員・児童委員等 計 12 名

内 容：「福祉学習に臨む際のポイント」

講 師：日本福祉大学 小林 洋司氏

③福祉体験学習・講演会等の開催

各学校にて、地域の方や施設の方との交流を行うと共に、点字や手話等の体験を通して福祉体験学習を行いました。また、下記のとおり、福祉講演会を行いました。

学校名	開催月	内 容	講 師	対象者	人数
猪名川小学校	6 月	車いす体験	当協議会職員	4 年生	59 名
	7 月	高齢者疑似体験	当協議会職員	4 年生	59 名
	9 月	点字の体験とお話	点訳ボランティア 「てんてまり」	4 年生	59 名
	10 月	福祉講演会 (視覚障害についてのお話と ミニコンサート)	北村 多恵氏	全校生徒	326 名
楊津小学校	9 月	点字の体験とお話	点訳ボランティア 「てんてまり」	4 年生	13 名
	10 月	①総合福祉(ゆうあい)センターの見学 ②グループホームとの交流	当協議会職員	4 年生	13 名
		①高齢者疑似体験 ②車いす体験	当協議会職員	4 年生	13 名
	11 月	認知症キッズサポーター養成講座	キャラバンメイト	4 年生	13 名
大島小学校	10 月	認知症キッズサポーター養成講座	キャラバンメイト	5 年生	6 名
		車いす体験	当協議会職員	5 年生	6 名
	11 月	点字の体験とお話	点訳ボランティア 「てんてまり」	5 年生	6 名

松尾台小学校	10月	点字の体験とお話	点訳ボランティア 「てんてまり」	4年生	45名
		福祉講演会 (視覚障害についてのお話)	三上 洋氏	全校生徒	293名
	2月	聴覚障がいについてのお話と 手話体験	手話サークル 「マジック」	2年生	43名
白金小学校	11月	点字の体験とお話し	点訳ボランティア 「てんてまり」	4年生	122名
	1月	福祉講演会 (車いすバスケット体験・お 話)	大内 秀之氏	4年生	122名
つつじが丘 小学校	10月	福祉講演会 (聴覚障害についてのお話と 手話歌)	安藤 美紀氏	全校生徒	712名
六瀬中学校	11月	福祉講演会 (視覚障害についてのお話と ミニコンサート)	前川 裕美氏	全校生徒	74名
		車いす体験・高齢者疑似体験	当協議会職員	1年生	22名
	12月	認知症サポーター養成講座	キャラバンメイト	2年生	27名
猪名川高校	5月	認知症サポーター養成講座	キャラバンメイト	教育コミュニ ケーション 類型3年 生	22名
	11月	聴覚障害についてのお話しと 手話についての学習	手話サークル 「マジック」		22名

④「トライやる・ウィーク」への協力

兵庫県教育委員会では、県下の公立中学校2年生全員が、地域社会で体験活動を行う週間を設定し、学校・家庭・地域社会が一体となり体験活動を通して、中学生の心の教育を図る目的で、平成10年度より「地域に学ぶトライやる・ウィーク」が実施されています。

○トライやる・ウィーク受け入れ状況

(単位：人)

受入期間	学校名	受入人数
5月15日～5月19日	猪名川中学校	6
5月29日～6月2日	中谷中学校	3
	六瀬中学校	2

(6) 広報・啓発活動

①広報紙等の発行

機関紙である「社協だより」を7月、10月、1月、3月の年4回(1回12,000部)発行し、全世帯に配布しました。

また、「ひょうごの福祉」を関係機関に配布すると共に、「ふれあい伝言板」(役場、図書館、ふらっと六瀬、日生連絡所に設置)に福祉情報を掲示、ホームページで社協

活動のPRに努めました。(共同募金の地域配分金を活用しています)

②「健康福祉まつり」への取組み

「だれもが健康で、安心して暮らせる地域社会をめざして、住民相互の理解と交流を深める」ために、地域福祉の担い手である住民の方々に地域や社会に参加してもらうきっかけづくりになることを目的として、社協らしい視点で地域福祉の推進の啓発に取り組みました。平成29年度は、「電動車いす体験」を実施しました。日常では体験できない電動車いすを操作した参加者からは「運転が難しいということがわかりました」などの声を聞くことが出来ました。(共同募金の地域配分金を活用しています)



(7) 自主財源活動

当会の財源は、町補助金・社協会費・共同募金地域配分金が主です。しかし、少子高齢社会に対応し、地域福祉・在宅福祉の新しいサービスを開発・推進するためには、多額の経費が必要となります。安定した財源確保のため、あらゆる地域福祉活動の展開の場において、本活動の必要性を訴えとともにその啓発に努め、会費・共同募金等への理解と協力を促しました。

①社協会員会費

会員会費は、当会に対する住民の物心両面にわたる理解と協力、参加を広げていくことを目的に、昭和63年から実施し、本会会員には、平成9年度から「会員之証」を発行しています。

○会員会費の納入状況

(単位：円)

会員の種類	会費額	29年度		28年度	
		金額	金額	金額	摘要
一般会員	500	2,952,682	49自治会	2,978,230	49自治会
賛助会員	5,000	250,000	46事業所	265,000	52事業所
団体会員	5,000	10,000	2団体	10,000	2団体
計		3,212,682		3,253,230	

②赤い羽根共同募金活動

兵庫県共同募金会 猪名川町共同募金委員会として、赤い羽根共同募金運動を実施いたしました。自治会・学校・法人・民生委員児童委員・職域などで多くの皆様へ活動を周知し、協力を得られ、平成28年度に比べ若干増額となりました。

○共同募金実績

	目標額（円）	実績額（円）	達成率
平成 29 年度	2,200,000	2,179,224	99%
平成 28 年度	2,200,000	2,128,126	97%

○募金別実績額

（単位：円）

募金方法	金額	募金方法	金額
戸別募金	1,413,820	学校募金	98,738
街頭募金	54,828	イベント募金	4,313
法人募金	288,360	その他（募金箱）	13,615
職域募金	305,550	-	-
合計		2,179,224	

○社協会費と共同募金の推移

（単位：円）

年度	25	26	27	28	29
社協会費	2,904,435	3,569,775	3,110,350	3,253,230	3,212,682
共同募金	2,211,120	2,176,917	2,167,221	2,128,126	2,179,224

○共同募金地域（B種）配分金の推移

平成 28 年度共同募金実績に対して平成 29 年度に共募B種配分金として交付されたもので、地域福祉活動財源となります。

（単位：円）

年度	25	26	27	28	29
共募地域（B種）配分金	1,769,000	1,772,000	1,771,000	1,768,000	1,705,000

③歳末たすけあい運動募金活動

○募金実績

（単位：円）

NO	区分	金額	備考
1	戸別募金	595,641	
2	街頭募金	34,197	12/1 日生中央駅, 12/3 サピエ・イオン猪名川
3	募金箱	6,991	
4	預金利子	1	
5	その他募金	0	
6	善意銀行繰入	200,000	
7	前年度繰越金	109,395	
合計		946,225	

○配分内訳

(単位：円・件)

NO	配分先	配分金額	見舞金	件数	備考
1	生活困窮世帯	110,000	10,000	11	相談支援等より
2	準要保護世帯（基本額）	455,000	5,000	91	教育委員会より
3	準要保護世帯（2人目以降）	177,000	3,000	59	
4	繰出金	28,000	0	0	歳末募金事務費へ繰出
5	次年度繰越金	176,225	0	0	
合計		946,225		161	

④善意銀行活動

地域の方々からの善意（金銭や物品等）を預かり、災害に見舞われた方や緊急に生活つなぎ資金が必要な方に払出すとともに、地域の福祉施設や福祉活動等に払出しを行いました。

○平成29年度 善意銀行預託払出状況表

種類	預託内容	金額等	備考	払出内容	金額等	備考
金銭	一般	380,962円	14件	一般	435,000円	・摂丹地区里親会 ・ひょうご子ども家庭福祉財団1件 ・特定非営利活動法人フードバンク関西1件 ・緊急払出し2件 ・歳末助け合い運動配分11件
	指定	50,000円	1件	指定	50,000円	・冷蔵庫（ゆうあいデイサービス）
	合計	430,962円		合計	485,000円	
物品	福祉用具	2件	・車イス ・ポータブルトイレ	福祉用具	2件	町内福祉施設などへ払出し
	その他	26件	・米（30キロ×6） ・フットマッサージャー ・肌着、オムツ ・囲碁セット ・黒皮、手芸、織機 ・ふき取り布、衣類 ・ハンドパブルアスピレーター ・ビデオカメラ ・指人形など	福祉用品 その他	14件	
	合計	28件		合計	16件	

(8) 団体事務局の運営

本会では、次の福祉8団体の事務局を担当し、諸活動に協力しました。

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| ①老人クラブ連合会 | ⑤身体障害者父母の会 | (セルフヘルプグループ) |
| ②遺族会 | ⑥手をつなぐ育成会 | (") |
| ③英霊にこたえる会 | ⑦こころ猪名川家族会 | (") |
| ④民生委員児童委員協議会 | ⑧身体障害者福祉会 | (") |

(9) 総合福祉センター管理運営等

総合福祉センターでは、高齢者等の生きがい・健康活動として各種の教室を開催し、広く利用の促進を図りました。また、町から総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、同センターの施設利用や維持管理の業務を行い、その利用状況及び改修工事の状況等については、次のとおりとなりました。

○総合福祉センターいきいき教室実施一覧表

教室名	実施時期	実施回数	参加者数
初級水泳教室	5月～7月	6回	9名
経験者向け水泳教室	5月～7月	6回	9名
水中体操教室	5月～7月	6回	8名
いきいき健康体操教室	5月～7月	6回	23名
曼荼羅パステルアート教室	5月～7月	6回	6名
日本全国♪歌めぐり教室	6月～7月	6回	23名
初級水泳教室	9月～11月	6回	11名
経験者向け水泳教室	9月～11月	6回	9名
ボールを使って体操教室	9月～11月	5回	15名
水中体操教室	9月～11月	6回	10名
健康力アップの食事教室	9月～11月	5回	9名
色えんぴつ画教室	9月～11月	6回	14名
初級水泳教室	1月～3月	6回	11名
水中体操教室	1月～3月	6回	15名
スポーツ吹き矢教室	1月～3月	6回	18名
やさしいヨガ教室	1月～3月	6回	15名
オカリナ教室	1月～3月	6回	19名
クレイクラフト教室	1月～3月	4回	11名
計	104回		235名 (延べ1,169名)

○総合福祉センター施設の利用状況一覧表

(単位：件・人)

		一般浴室	室内プール	教養娯楽室	研修室	ドーム
29年度	件数			398	229	1,402
	人数	49,137	5,006	5,216	3,548	11,219
28年度	件数			383	231	1,353
	人数	47,688	4,713	5,084	3,610	10,870

○総合福祉センターの施設修繕一覧表

(単位：円)

実施時期	修繕工事内容	金額
6月	福祉センター1階事務所内ブラインド更新	89,640
7月	福祉センター一般浴槽水栓交換修理 障害者センター蜂の巣駆除	52,812 9,720
8月	福祉センター1階食堂内カウンターシャッター修理 福祉センター2階エアコン設置工事	90,504 810,000
9月	福祉センター火災報知器修繕（防災監視盤落雷に伴う不具合）	237,600
10月	福祉センター1階入口自動扉緊急修理	19,440
11月	福祉センター泡風呂浴室扉修理 障害者センター床暖房制御器取替工事	59,400 140,724
1月	福祉センター1階エントラス床修理 福祉センター室内プール冷温水ポンプ緊急部品取替修理	61,560 32,400
3月	福祉センターファンコイルユニット冷温水配管温度確認調査 福祉センター一般浴室換気扇修理 福祉センター2階研修室椅子特殊洗浄 福祉センター1階浴室脱衣室内洗面所混合栓交換修理	324,000 118,800 70,200 31,752
計		2,148,552

(10) 諸 会 議

①理事会開催状況

(理事定数 9 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
29. 5. 30	理事会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 出席状況 採決状況	平成 28 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 平成 28 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会定款施行細則の全部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規程の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会常務理事の報酬及び就業等に関する規程の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事・監事候補者について 平成 29 年度第 1 回評議員会の招集日時、場所、議題等について 理事 9 名 監事 1 名 第 1 号～第 7 号すべて議決
29. 6. 15	理事会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 8 号 議案第 9 号 議案第 10 号 議案第 11 号 出席状況 採決状況	会長の選任について 副会長の選任について 常務理事の選任について 猪名川町社会福祉協議会経理規程の一部改正について 理事 8 名 監事 1 名 第 9 号～第 11 号すべて議決
29. 9. 29	理事会 (3 回)	総合福祉センター	議案第 12 号 議案第 13 号 議案第 14 号 議案第 15 号 議案第 16 号 議案第 17 号 出席状況 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会情報公開規程の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会情報公開審査委員会の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 猪名川町地域協議会設置要綱の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会臨時職員の雇用に関する要綱の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員の推薦候補者について 理事 8 名 監事 1 名 第 12 号～第 17 号すべて議決
30. 1. 30	理事会 (4 回)	総合福祉センター	議案第 18 号 議案第 19 号	平成 29 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第 1 号)について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会情報公開審査委員会規則の一部改正について

			議案第20号 議案第21号 議案第22号 出席状況 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会嘱託職員の雇用に関する要綱の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会臨時職員の雇用に関する要綱の一部改正について 平成29年度第2回評議員会の招集日時、場所、議題等について 理事9名 監事1名 第18号～第22号すべて議決
30.3.9	理事会	理事会の決議の省略（一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第9条）	議案第23号 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 第23号議決
30.3.22	理事会 (5回)	総合福祉センター	議案第24号 議案第25号 議案第26号 議案第27号 議案第28号 議案第29号 議案第30号 議案第31号 議案第32号 議案第33号 議案第34号 議案第35号 出席状況 採決状況	平成30年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の事業計画について 平成30年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出予算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会定款の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事務局組織規程の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会就業規則の一部改正について 猪名川町社会福祉協議会ゆうあいグループホーム運営規程等の廃止について 猪名川町社会福祉協議会ゆうあいグループホーム入退所審査会要綱等の廃止について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会ゆうあいデイサービスセンター指定通所介護事業運営規程等の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会監事監査規程の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会正副会長会議設置要綱の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会嘱託職員の雇用に関する要綱等の一部改正について 平成29年度第3回評議員会の招集日時、場所、議題等について 常務理事の選任について 理事8名 監事2名 第24号～第36号すべて議決

②監事会開催状況

(監事定数 2 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容
29. 5. 23	監査	総合福祉センター	平成 28 年度事業報告・収入支出決算監査 監事 2 名出席

③評議員会開催状況

(評議員定数 17 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容
29. 6. 13	評議員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 平成 28 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 議案第 2 号 平成 28 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 議案第 3 号 理事・監事の選任について 議案第 4 号 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規程の制定について 議案第 5 号 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会常務理事の報酬及び就業等に関する規程の一部改正について 出席状況 評議員 14 名 理事 3 名 監事 1 名 採決状況 第 1 号～第 5 号すべて議決
30. 2. 9	評議員会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 6 号 平成 29 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第 1 号)について 出席状況 評議員 13 名 理事 3 名 監事 1 名 採決状況 第 7 号～第 9 号すべて議決
30. 3. 30	評議員会 (3 回)	総合福祉センター	議案第 7 号 平成 30 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の事業計画について 議案第 8 号 平成 30 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出予算について 議案第 9 号 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会定款の一部改正について 出席状況 評議員 12 名 理事 3 名 監事 1 名 採決状況 第 7 号～第 9 号すべて議決

④評議員選任・解任委員会

(委員定数 5 名)

年月日	会議名	場 所	内 容
29. 10. 12	委員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 評議員推薦候補者の選任について 出席状況 委員 4 名 採決状況 第 1 号議決

⑤兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会

(委員定数 9 名)

年月日	会議名	場 所	内 容
29. 5. 30	委員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 社会福祉法人兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会規程の全部改正について 議案第 2 号 平成 28 年度赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動報告について

			議案第 3 号 議案第 4 号 出席状況 採決状況	平成 28 年度一般会計及び特別会計決算について 監事の選任について 委員 8 名 監事 2 名 第 1 号～第 4 号すべて議決
29. 9. 29	委員会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 出席状況 採決状況	平成 29 年度社会福祉法人兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会事業計画について 平成 29 年度社会福祉法人兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会予算について 社会福祉法人兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会規程の一部改正について 委員 7 名 監事 0 名 第 5 号～第 7 号すべて議決

⑥共同募金委員会監事監査開催状況

(監事定数 2 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容
29. 5. 23	監事 監査 (1 回)	総合福祉センター	平成 28 年度赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金の活動報告 平成 28 年度一般会計及び特別会計決算監査 監事 2 名出席

⑦地域福祉推進計画評価委員会

地域福祉推進計画に基づいて実施している事業・活動について、住民の立場や専門的な視点から評価を行い、計画の確実、効果的な推進を図ることを目的として、評価委員会を開催しました。

第 6 次地域福祉推進計画策定後、3 年目の各事業の評価、現状と課題（評価）及び次年度の目標について報告を行うとともに、委員の方々より地域の課題について協議、意見交換を行いました。

社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

◎理事 (定員 7 名以上 9 名以内)

(任期 平成 29 年 6 月 13 日～平成 30 年度に関する定時評議員会の終結時まで)

※順不同

会長	鍋谷	將
副会長	桑江	朝武
理事	西山	宇一
〃	中村	多一
〃	平井	邦子
〃	福井	和夫
〃	村山	興治
〃	喜多	護
常務理事	柳谷	勝則

◎監事 (定員 2 名以内)

(任期 平成 29 年 6 月 13 日～平成 30 年度に関する定時評議員会の終結時まで)

監事	家門	正幸
監事	今村	恵子

◎評議員 (定員 14 名以上 17 名以内)

(任期 平成 29 年 4 月 1 日から選任後 4 年以内の終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結まで)

※順不同

評議員	上殿	孝弘	評議員	住野	満
〃	宮本	浜子	〃	太田	はるよ
〃	北中	昭夫	〃	安藤	邦美
〃	真田	紀代	〃	鈴木	裕治
〃	端野	久美子	〃	山中	清治
〃	高岡	美津子	〃	伊藤	茂子
〃	水黒	健一	〃	板橋	汎子
〃	今泉	友幸	〃	関口	捷子
〃	石井	誠			